



## 平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナイガイ

コード番号 8013 URL <http://www.naigai.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 泉 潔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 市原 聡

TEL 03-5822-3810

四半期報告書提出予定日 平成26年6月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	3,785	3.8	△118	—	△114	—	△124	—
26年1月期第1四半期	3,646	△3.4	△136	—	△67	—	△79	—

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 △268百万円 (—%) 26年1月期第1四半期 512百万円 (205.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	△1.52	—
26年1月期第1四半期	△0.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第1四半期	14,280	8,085	56.4	98.10
26年1月期	13,404	8,354	62.1	101.37

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 8,058百万円 26年1月期 8,327百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年1月期	—	—	—	0.00	0.00
27年1月期	—	—	—	0.00	0.00
27年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,100	2.6	△200	—	△200	—	△215	—	△2.62
通期	18,000	2.7	50	—	50	△49.1	20	△75.1	0.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期1Q	82,172,815 株	26年1月期	82,172,815 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年1月期1Q	20,542 株	26年1月期	18,178 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期1Q	82,153,724 株	26年1月期1Q	82,137,619 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善が見られるなど全体としては緩やかな回復基調となりました。個人消費は持ち直しつつあり、春闘で一定の賃上げも達成されましたが、消費税増税分を補うまでには至らず、依然慎重な購買姿勢が続いております。

衣料品業界におきましては、2月は関東甲信地方を中心とした2週連続の記録的大雪の影響で売上を落とし、3月は消費税増税前の駆け込み需要の影響で高額商品を中心に好調に推移しましたが、増税後はその反動により消費が落ち込むなど、当四半期は不安定な推移となりました。

こうした中、当社グループは、2年目を迎えた第2次中期経営計画に基づき、アンダーウェアの販売拡大、インターネット通販事業の拡大施策の実行と、消費税増税前の駆け込み需要への対応などに取り組みました。

通信販売事業は概ね計画通りの販売と利益を確保し、前年同期に対して増収増益となる一方で、主力の卸売り事業は、店頭販売が好調で増収に寄与したものの、秋冬商品の返品が増えたこと、在庫評価を含む利益面で計画乖離し減益となりました。ただし、為替相場が安定したことで、連結営業損益は前年を上回る状況となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,785百万円（前年同期比3.8%増）、営業損失は118百万円（前年同期比18百万円の増益）、経常損失は114百万円（前年同期比47百万円の減益）、四半期純損失124百万円（前年同期比45百万円の減益）となりました。

セグメント別の業績概要は以下の通りです。

#### (卸売り事業)

卸売り事業の主体であるレッグウェア事業では、百貨店・専門店販路の店頭販売は、消費税増税前の駆け込み需要もあり、2～4月累計では前年を上回るペースで推移しましたが、売上は、秋冬商品の返品増加により前年並みとなりました。商品動向では、紳士靴下ではカジュアルソックス、ショートソックス、ソフトクチゴムソックス、婦人靴下ではプレーンパンスト、スニーカーソックスが好調に推移しました。メンズアンダーウェアにつきましては、展開店舗とフェア展開の増加に取り組みました。

量販店販路につきましては、2月は降雪の影響で前年を下回ったものの、3月は一転して増税前の駆け込み需要もあり前年を上回るペースで推移しました。特にスクールソックス、スポーツソックスが好調で、2～4月累計では前年を上回る売上を確保することが出来ました。

その他卸売り事業の株式会社NAP、ゴム糸製造卸、OEM、輸出、海外子会社の事業については概ね順調に進捗し、前年を上回る売上を確保することが出来ました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間での卸売り事業全体の売上高は、3,022百万円（前年同期比4.9%増）、営業損失は171百万円（前年同期比37百万円の減益）となりました。

#### (通信販売事業)

通信販売事業につきましては、テレビ通販を主体とする株式会社ナイガイ・イムは、主力のテレビ通販における消化率の改善及び催事販売の回数を大幅に増加させたことにより、収益改善と在庫削減を実行いたしました。

また、インターネット通販を展開するセンチールワン株式会社は、消費税増税前の駆け込み需要を見越した事前の積極的な商品手配と販売促進が功を奏し、3月の売上は前年を大きく上回り、増収、増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の通信販売事業全体の売上高は860百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は58百万円（前年同期比61百万円の増益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して875百万円増加し、14,280百万円となりました。流動資産では、現金及び預金が1,002百万円、商品及び製品が733百万円増加し、受取手形及び売掛金が617百万円減少しました。固定資産では、投資有価証券が時価の下落により161百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に対して1,144百万円増加し、6,194百万円となりました。支払手形及び買掛金が319百万円、電子記録債務が350百万円、短期借入金が499百万円増加し、返品調整引当金が92百万円減少しました。

純資産につきましては、四半期純損失124百万円の計上とその他有価証券評価差額金の減少129百万円等により、前連結会計年度末に対して268百万円減少し、8,085百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に対して5.7ポイント減少し56.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年3月14日に公表いたしました業績予想から、本資料公表時点での変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,653	3,656
受取手形及び売掛金	3,614	2,996
商品及び製品	3,207	3,940
仕掛品	13	16
原材料及び貯蔵品	74	77
その他	339	288
貸倒引当金	△35	△41
流動資産合計	9,867	10,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43	41
土地	74	73
その他(純額)	122	116
有形固定資産合計	240	231
無形固定資産		
	334	316
投資その他の資産		
投資有価証券	2,746	2,584
その他	247	246
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	2,961	2,798
固定資産合計	3,536	3,345
資産合計	13,404	14,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	816	1,135
電子記録債務	901	1,251
短期借入金	694	1,193
未払法人税等	34	24
賞与引当金	22	45
返品調整引当金	337	244
その他	595	721
流動負債合計	3,401	4,615
固定負債		
長期借入金	300	260
退職給付引当金	1,048	1,047
繰延税金負債	265	237
その他	34	34
固定負債合計	1,648	1,578
負債合計	5,050	6,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,691	7,691
資本剰余金	6,781	6,781
利益剰余金	△6,900	△7,025
自己株式	△1	△1
株主資本合計	7,570	7,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	534
為替換算調整勘定	93	78
その他の包括利益累計額合計	756	612
少数株主持分	26	26
純資産合計	8,354	8,085
負債純資産合計	13,404	14,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	3,646	3,785
売上原価	2,286	2,447
売上総利益	1,359	1,338
販売費及び一般管理費	1,496	1,456
営業損失(△)	△136	△118
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	65	9
持分法による投資利益	2	—
その他	10	6
営業外収益合計	79	17
営業外費用		
支払利息	8	7
持分法による投資損失	—	3
その他	2	2
営業外費用合計	10	12
経常損失(△)	△67	△114
税金等調整前四半期純損失(△)	△67	△114
法人税、住民税及び事業税	10	11
法人税等調整額	△0	△2
法人税等合計	10	9
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△78	△123
少数株主利益	1	1
四半期純損失(△)	△79	△124



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△78	△123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	519	△126
為替換算調整勘定	44	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	26	△3
その他の包括利益合計	590	△145
四半期包括利益	512	△268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	510	△268
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,830	815	3,646	—	3,646
セグメント間の内部売上高又は 振替高	49	—	49	△49	—
計	2,880	815	3,695	△49	3,646
セグメント利益又は損失(△)	△134	△2	△137	0	△136

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,925	860	3,785	—	3,785
セグメント間の内部売上高又は 振替高	97	—	97	△97	—
計	3,022	860	3,882	△97	3,785
セグメント利益又は損失(△)	△171	58	△113	△4	△118

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。